

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ (ココロン・カフェ) の実施結果について

1 概要

第1回及び第2回ココロン・カフェを開催し、障害を理由とする差別の解消等について、市民による意見交換等を行った。

2 実施日時及び参加者数等

(1) 第1回ココロン・カフェ

- ① 日 時：平成26年10月22日（水）10：00～12：00
- ② 場 所：仙台市福祉プラザ1階プラザホール
- ③ 参加者：43名（6グループで意見交換実施）

(2) 第2回ココロン・カフェ

- ① 日 時：平成26年11月23日（日）14：00～16：00
- ② 場 所：仙台市役所本庁舎8階ホール
- ③ 参加者：69名（11グループで意見交換実施）

(3) 実施内容

- ① はじめに
- ② 仙台市説明
 - ・障害を理由とする差別の解消について
- ③ ワークショップ
 - ・意見交換の項目
 - 「障害に関する自分の体験について話そう」
 - 「障害ってなあに」
 - 「障害のある人もない人も暮らしやすいまちにするためのアイデアについて話そう」
 - ・意見発表

3 意見交換において話された主な内容

- 出会い・話合いの場の創出や拡大が必要である
 - ・障害について「話合う」「伝え合う」「考えあう」「支え合う」ことが大事。
 - ・障害理解のためにはココロン・カフェのような話合いの場が必要。
 - ・これまでは、障害者と出会うことが少なく困っていることなどがよくわからなかったが、ココロン・カフェで話し合ったことで理解が進んだ。

- ・障害者同士でも他の人の障害の状況や生活のしづらさは話してみないとわからない。
- ・差別や偏見は障害や障害者を知らないことによるところがあると思う。

○ 障害者からの発信が大事である

- ・自分の特徴を書いた「説明書」を周囲の人にわたすことで理解が広まる。
- ・障害について理解してもらえるよう、様々な場所に出ていき発信していくことが大事。
- ・困った時は、勇気を持って周囲の人に伝えることが大切。
- ・自分の障害の状況等を詳細に伝えないと誤解を生むこともある。
- ・障害者手帳やふれあい乗車証をもっていることや障害者であることを知られたくない。
- ・障害について家族が周囲に隠したがる。

○ 外見ではわかりづらい障害への理解の促進が必要である

- ・聴覚障害、内部障害、発達障害、難病など外見でわかりづらい障害が多い。
- ・外見でわかりづらい障害の場合、必要な配慮が受けられない場合が多い。
- ・内部障害のため、地下鉄やバス等で優先席に座ることをためらってしまう。
- ・ヘルプカードの工夫などにより、外見ではわかりづらい障害を周囲の人に伝えられるような仕組みが必要。

○ バリアフリー、ユニバーサルデザインの促進が重要である

- ・段差の解消、エレベーターの設置などのバリアフリーのハード整備が進むことにより、障害者だけではなく高齢者や妊婦など、多くの市民が住みやすいまちになる。
- ・改札や店舗の通路がせまい。
- ・車いす用トイレが少ない。
- ・点字ブロックの整備が徹底されていない。
- ・特定の人だけではなく、みんなが使いやすいユニバーサルデザインの促進が重要。

○ 障害者が働きやすく企業が雇用しやすい環境整備が必要である

- ・障害者が安心して働くことができる社会の実現が必要。
- ・企業と障害者の間に入るジョブコーチが増えることを希望。
- ・職場でさりげないサポートができる環境が大切。
- ・企業における障害理解の促進が重要。

- ・毎日働きたいが、契約上毎日働くことができず残念。
- ・現在、清掃に従事しているが、そろそろ次のステップへ移行したい。
- ・一方で、企業側としては、厳しい経営状況等の中、障害者雇用を進めることが困難になっているのではないか。

○ 教育の役割が重要である

- ・学校教育においては障害のある児童と障害のない児童と一緒に学ぶことが大事。
- ・障害理解の促進のためには、小さいころからの教育が重要。
- ・障害について学校で学べるようになるとうい。

○ 障害理解の促進が重要である

- ・地域の中で障害者が生活していることを知ってほしい。
- ・障害について正しい理解の促進が重要。
- ・障害を伝えても、排除されない社会になってほしい。
- ・障害のある人となない人、それぞれの理解が進めば暮らしやすくなる。
- ・「障害者には、あまりかかわらないようにしておこう」という対応が寂しい。

○ ココロン・カフェへの意見

- ・障害理解のためにはココロン・カフェのような話合いの場が必要。(再掲)
- ・これまでは、障害者と出会うことが少なく困っていることなどがよくわからなかったが、ココロン・カフェで話し合ったことで理解が進んだ。(再掲)
- ・ココロン・カフェの回数を増やしてほしい。
- ・ココロン・カフェに消防、警察、企業の人など、様々な人が来てほしい。
- ・ココロン・カフェについて、一層積極的な広報を望む。

○ その他

- ・災害時には障害特性に配慮した障害者へ支援が必要。
- ・ヘルプカードのデザイン面での統一が必要。
- ・障害を「障がい」と記載してはどうか。
- ・多様性を認める社会の実現が重要。
- ・差別解消の条例は、市民のモチベーションがあがり、差別解消に積極的に取り組む人が増えていくようなものが良いと思う。

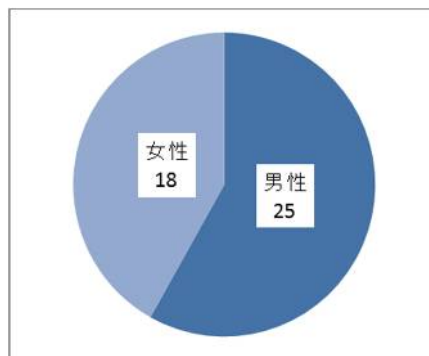
4 実施状況について（アンケート結果より）

【第1回ココロン・カフェ】

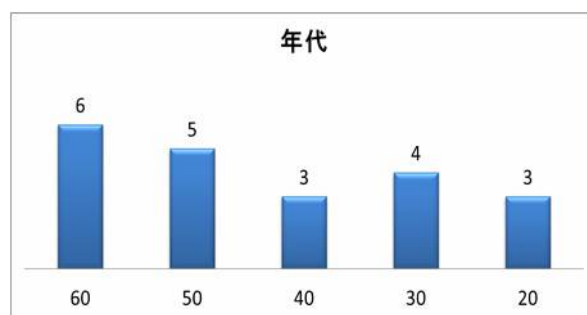
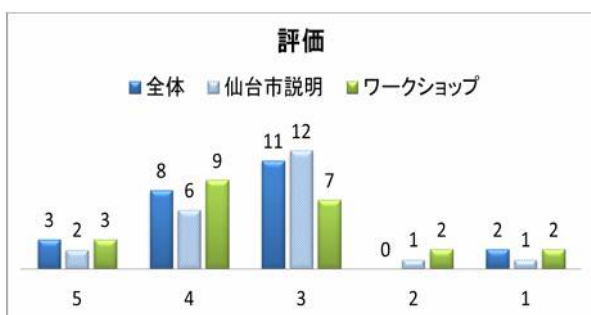
○ 参加者数

| 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|-----|-----|
| 25人 | 18人 | 43人 |

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者 など



○ アンケート結果（回収 24 人：男性 12 人/女性 12 人）



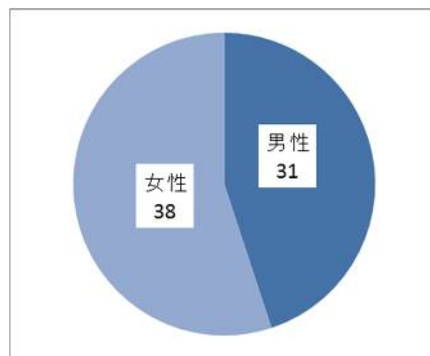
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

【第2回ココロン・カフェ】

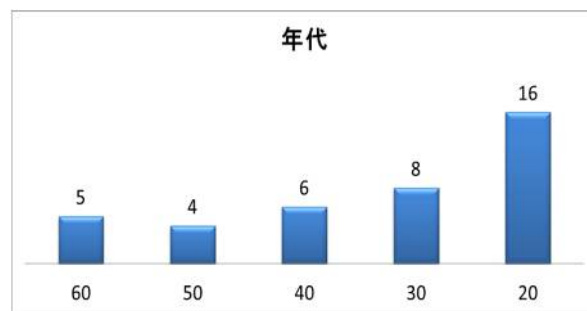
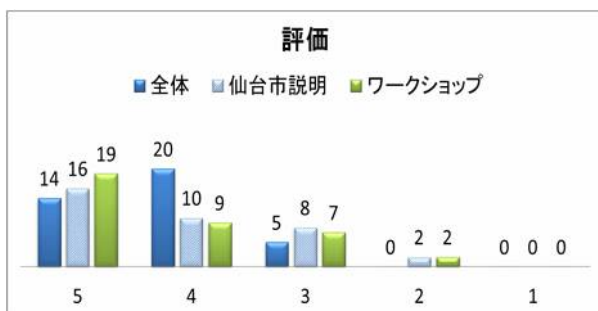
○ 参加者数

| 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|-----|-----|
| 31人 | 38人 | 69人 |

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者、学生 など



○ アンケート結果（回収 44 人：男性 18 人/女性 26 人）



5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない